



防災道具の人気者(これだけは必要な17点)

阪神淡路大震災罹災者アンケートから完成した3日間非常袋



- カセットコンロ
危険のない広い場所で調理できるので便利。



- 保存食
1人3日分は必要。
もし、家が倒壊しても掘りだせる所へ保管。



- 懐中電灯
停電になったとき手の届く所にあると危険を回避できる。

- ラップ
- カイロ
- 軍手
- ポリ袋
- ウエットティッシュ
- 食器
- バケツ (給水袋)
- 毛布 (保温シート)
- マスク
- タオル
- 工具 (ナイフ等)
- レインコート



- ラジオ
風評に惑わされることのないよう、正確な情報を入手できる。

食器の上に敷くと洗わずに済むので水の節約になる。防寒に役に立つ。
転倒家具や破片をよけ避難通路を確保する時など重宝する物を入れる、雨具の代用としてかぶる等、汎用性が高い。
水がない時、役に立つ。
ラップをかえるだけで何度も使用できる。
給水時に使用したり、汎用性が高い。
避難場所での防寒及び体を休める時に役に立つ。
ほこりや風邪予防、防寒にも役に立つ。
汚れの拭き取り、ケガの手当てなど用途は広い。
多様な機能がある複合ツールがあると便利。
雨の日、作業や荷物を運んだり、料理をする時に使用。



- 水
飲料水は1人1日3L
3日分は備蓄しておく。

◎避難場所での生活に最低限必要な準備をし、また負傷した時に応急手当ができるように準備をしておきましょう。

◎非常持出品や備蓄品は定期的に点検・入替をしておきましょう。

※その他、自分に必要な物(薬など)は、非常袋にメモを書いて分かりやすい所に貼っておく。

来館者紹介



周防大島町身体障害者福祉協議会の皆さん

高松市消防団幹部先進都市視察研修の皆さん



山口県大島防災センター



防府市社会福祉協議会の皆さん

サマーコンサートin久賀 防災と音楽のつどい

日 時：8月14日(土)

場 所：山口県大島防災センター(久賀)

時 間：開場15時30分 開演16時

入場料：無料

客演指揮：中井 勝(元久賀高等学校吹奏楽部顧問、現山口県吹奏楽連盟理事長)

共 催：山口県大島防災センター

駒澤大学付属苫小牧高等学校吹奏楽部

後 援：山口県吹奏楽連盟



次号は、避難などについて記載したいと思います。
引き続きよろしくお願いいたします。

